

事務事業チェックシート

事務事業No 330 事業名 狂犬病予防事業

分野別目標	2	個人を尊重し、人々がともに助け合う優しいまち
政策	1	地域福祉と健康づくりの推進
施策	4	生活衛生対策の推進
基本方針	2	人と動物が共生しやすいまちづくり

事業種別	継続	主な事務事業
事業期間	～	
事業実施の根拠法令	狂犬病予防法、動物の愛護及び管理に関する法律	
関連個別計画		
担当課・担当課長 (Tel)	生活保健課	辻村 光司 (488-5114)
関連課		

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	○
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	衛生費		
	項	保健衛生費		
	目	狂犬病予防費		
	大事業	狂犬病予防事業		
事項	狂犬病予防事業			

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
			○	
44の約束				○

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
	市民に対し狂犬病予防について周知し、また狂犬病予防法に基づき犬の登録及び狂犬病予防注射を実施することで、狂犬病の発生を予防し、またその蔓延を防止することで、安心して市民と犬が共存できる社会を目指す。	・犬の登録及び鑑札の交付（手数料3,000円）、狂犬病予防注射済票の交付（手数料550円）。市報への掲載及び前年度登録者に対する狂犬病予防注射のお知らせ葉書の送付により、集合形式による犬の登録・狂犬病予防注射を実施（38箇所）し、動物病院でも狂犬病予防注射が出来ることを知らせる。 ・狂犬病予防法に違反した犬に対する苦情の処理及び収容・抑留・処分 ・犬の飼育者に対する適正飼育の啓発活動				
実施内容		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		狂犬病予防集合注射会場（38箇所） 犬の登録頭数（1,7231頭） 狂犬病予防注射頭数（10,074頭）	狂犬病予防集合注射会場（38箇所） 犬の登録頭数（17,599頭） 狂犬病予防注射頭数（10,308頭）			

2 事業コスト

		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	計画	決算	
事業費等 千円	事業費	3,282	2,314	3,313	3,037	3,812		3,812		3,812		
	伸び率 (%)	-	-	0.9%		15.1%		0.0%		0.0%		
	人件費	常勤職員	7,199	15,200	15,200	13,979	13,966		13,966		13,966	
		非常勤職員	2,530	6,977	6,977	5,624	6,233		6,233		6,233	
		小計	9,729	22,177	22,177	19,603	20,199		20,199		20,199	
	国庫支出金											
	県支出金											
	市債											
	その他	10,151	9,325	10,495	9,358	10,503		10,503		10,503		
	一般財源（税等）	-6,869	7,011	-7,182	-6,854	-6,691		-6,691		-6,691		
所要人数	常勤職員	0.97	2.03	2.03	1.87	1.87		1.87		1.87		
	非常勤職員	1.28	3.44	3.44	2.67	3.08		3.08		3.08		
主な予算内訳		機械等借上料（884千円） 自動車借上料（728千円） 等										

3 目標及び実績

指標名及び達成状況					平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	単位	箇所	全体目標値	全体目標達成度	年度目標値	実績値	年度別達成度	年度別達成度	年度別達成度
活動指標	狂犬病予防集合注射会場				38	38	38	38	38
					38	38			
	単位	箇所	全体目標値	38	全体目標達成度	100.0%	100.0%		
	啓発活動数				3	3	5	6	7
成果指標					3	2			
	単位	回	全体目標値	7	全体目標達成度	100.0%	66.7%		
	狂犬病予防接種率（実施頭数／登録頭数×100）				70	70	70	70	70
					58.5	58.6			
	単位	%	全体目標値	70	全体目標達成度	83.6%	83.7%		

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	法律で実施が義務化されている事業である。
「見直し」 「改善」案	市報やインターネット等のマスメディアを通して、未接種犬を無くすよう啓発活動を行います。